

30106道路建設工事における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	16~17	勾配のある場所でブロック積作業をしていた際、ブロックを持って移動させようとしたとき、右足に体重がかかり、右足を捻るような形になった。	23	19	611	50 ~ 99
2	2017	12	15~16	屋外バスケットコートで塗装作業中、脚立に上った際に足元が滑り、脚立ごと転倒して左手首を骨折した。当日は時折雪が降っており、滑りやすい状況であった。	44	1	371	1~ 9
3	2017	12	9~10	道路拡張工事の現場でU字溝蓋の加工中、エンジン付カッターで切断中に右耳が聞こえなくなってしまった。	53	90	719	1~ 9
4	2017	12	14~15	仮設落石防護柵撤去中に、玉掛け作業員がバックホウの作業半径内に入って重機オペレーターと打ち合わせを行った後に、重機オペレーターと作業員の間で作業半径から離れたことに対して合図が明確になされておらず、重機オペレーターが重機を右回転させたところ、重機本体と大型土のうの間に作業員の左下肢が挟まれ受傷した。	41	7	141	1~ 9
5	2017	11	9~10	坑門背面埋戻し工事の施工管理のため、盛土材を巻き出した段差（H=30cm一層）箇所を移動する際、段差に足を滑らせて転倒し、不自然に着地した右足首に全体重がかかり負傷する。＜原因＞・盛土材を巻き出した段差（H=300）急勾配・被災者の意識が慌てていて、考え事をしていて、不注意。	47	1	711	1~ 9
				現場でL型擁壁（1250型二次製造）据付時（移動式クレーンに				

14	2017	10	8～9	重機置き場で同僚とバックホウのバケットのメンテナンス作業中に、ピンが入りづらかったため、左手中指でピンを差し込む穴を確認した際バケットがずれ、左手中指を切断した。	57	7	142	10 ～ 29
15	2017	10	8～9	当社の施工現場へは、車両置き場で車から降りた後、10m程度の距離を徒歩で通勤する。当日、負傷した労働者は車から降りた後、すぐにヤッケを着用した。その際片足を上げバランスを崩し、右足首を捻り骨折。車両置き場は坂道であるため、バランスがとりにくい状態であった。	45	2	911	1～ 9
16	2017	10	9～ 10	道路維持作業中（台風21号による倒木処理）に4本の重なった倒木をチェーンソーで切断した際に、しなっていた幹がチェーンソーに当たり、そのチェーンソーが右足の膝下10cmの所に当たり裂創した。	42	8	136	1～ 9
17	2017	10	8～9	鉄板の段差修正のため、バールで鉄板を持ち上げ角材を入れようとしたところ、バールがすべって鉄板が落下し、右手人差し指を挟んだ。	26	4	521	1～ 9
18	2017	10	10～ 11	路肩規制内において、吸音板の取替作業中に4tユニックの荷台上に置いてあった吊具を取りに向かった際、4tユニック脇の路面上に仮置きしていた、撤去した吸音板を乗せていた台木につまずき、アスカーブに手を付き負傷したもの。	39	2	612	1～ 9
19	2017	10	9～ 10	現場作業所の地上で、上下拡張式形状保持装置を組立中、形状保持装置の内筒部を外筒部からチェーンブロックで引き出していたが、所定の位置へ引き出す前に止まってしまったため、状況を確認しようとして下斜めから覗き込んだところ、内部筒に挿入していたピンが抜け落ちピンが被災者の左手に落下し受傷した。	40	4	391	10 ～ 29
20	2017	10	16～ 17	自社置場において、軽量鋼矢板（2.5m）の積卸し作業の補助を荷台の上で行っていた時、吊り上げた荷が傾き、荷台と吊荷の間に足を挟まれた。	55	7	611	10 ～ 29

21	2017	10	14～ 15	資材置き場において、資材をクレーンで平ボディに積み込み作業中、吊荷を下している時、荷台フックに躓いて荷台より転落した際（高さ1m）右手首を負傷したもの。	33	1	221	1～ 9
22	2017	10	10～ 11	法面で支障木の伐採中に思わぬ箇所から木が折れて、作業員の方に覆いかぶさり被災した。被災者は伐木等業務の特別教育は受講していなかった。	43	4	712	10 ～ 29
23	2017	9	14～ 15	当社の土場の回りの雑木を伐採中に右足が石につまずき、左足首を骨折した。	57	2	711	1～ 9
24	2017	9	6～7	駐車場でトラック荷台に載せていた積荷の積み替え作業中に、トラックの荷台から降りようとし、車体に足が引っ掛かり転落、右足首を骨折したものである。	49	1	221	10 ～ 29
25	2017	9	10～ 11	当社倉庫裏の斜面で、草刈作業をしているときに、上り斜面で足場を変えたときに足を滑らし、前に倒れ、滑り落ちてきた刈り払い機の回転刃に、右手手のひらが接触し、切傷したものである。	19	8	711	10 ～ 29
26	2017	9	10～ 11	歩道工事で、下請の作業員が高木（約7m）を撤去作業中（高所の枝をすべて撤去）残り約2.5mを撤去中、木に帯ひもを掛けてユニックで吊り上げつつ脚立の上から（地上約2m）、チェーンソーで枝を切断している時切れた枝が自分の方に向かってきた為、とっさに脚立から足がおりてしまい、左手・胸・腰のあたりを地面に強打し負傷した。	40	3	371	10 ～ 29
27	2017	9	12～ 13	宅地造成区画道路で舗装工事中道路上の合材をスコップで清掃していたところ、アスファルトフィニッシャーの運転手が被災労働者に気づかずに前進させたため左足を轢かれ骨折したものの。	53	6	149	10 ～ 29
28	2017	8	11～ 12	法面でロープを設置する作業中に、足を滑らせて（想定）、6～7m下の道路に滑落した。当時、ロリップをロープに接続して	39	1	711	1～ 9

				いなかった。				
29	2017	8	17～ 18	防護柵（GR・GP）設置工事の作業をしていた際、作業が終わり、トラックに乗ろうとしたときに立ちくらみがした。大丈夫だと思って事務所へ向かったが、体調が戻らず、途中で救急車を呼び、病院へ搬送された。	33	90	911	—
30	2017	8	7～8	4tダンプに資材を積込んでいるときに資材が落下し、4tダンプから飛び降りたときに足を捻挫したと思った。痛みがあり病院に行ったところ、骨折と判明した。	67	3	221	10 ～ 29
31	2017	8	10～ 11	ダンプトラックで砂を荷下ろしした後、後方部のあおりの角で手を挟み、左手薬指（第1～第3関節）を負傷し、数針縫う怪我を負った。	22	7	221	30 ～ 49
32	2017	8	14～ 15	路肩規制を行い、草刈作業を実施中、警備員の笛の指示に従い作業を中断し、車両が通過するのを待っていた。その際、左外側線より草刈機の先端が車道に出ており、後方より走行して来た軽乗用車の前方と接触した。その反動で左横方向に一回転し負傷した。	24	17	231	1～ 9
33	2017	8	13～ 14	路肩改良工事の型枠作成にあたり、被災者が丸鋸で型枠部材を切断中、片手で電動ディール線を引き寄せたため不安定になり、跳ね返りを防ぐことができず、誤って右大腿部を負傷した。	32	8	364	1～ 9
34	2017	8	15～ 16	一車線規制をしている中で舗装工事をしていたとき、規制用のカラーコーンに走行車両（一般通行車両）が接触した。その際、カラーコーン上部のピカピカライト（保安灯）の乾電池が飛散し、被災者の右肘に当たった。	34	4	231	1～ 9
35	2017	8	16～ 17	土場にて、障壁を乗り越えようとしたときに足を滑らせて転倒し、左脇腹辺りを強打し受傷した。	74	2	417	1～ 9
				4路線舗装道補修工事及び、セメントミルク注入工事の際、セメ				

36	2017	8	13~ 14	ントミルク攪拌のため、散水車で水を汲み、両手にポリタンクを持ち移動するとき、養生ベニヤ（薄ベニヤ、厚さ約3mm）に躓き転倒し、膝を強打し負傷した。その後は終業時刻まで仕事を続けたが、帰宅後に膝が腫れ、痛みが出てきた。	60	2	417	10 ~ 29
37	2017	8	13~ 14	2車線中1車線を規制し、決められた安全策のもと道路舗装工事中、下ってきた大型トラックが運転手の操作ミスにより、作業中の被災者に衝突し即死した。	47	17	221	10 ~ 29
38	2017	8	13~ 14	2車線中1車線を規制し、決められた安全策のもと道路舗装工事中、下ってきた大型トラックが運転手の操作ミスにより、作業用車両（ユニック車）に突っ込み、そのはずみでユニック車に撥ねられ負傷した。	40	17	221	10 ~ 29
39	2017	8	13~ 14	幹線水路（第1区間）維持管理等業務において、外部進入路内10m付近で、交通規制用看板の荷降ろし作業中、トラック荷台アオリを開いたときに荷が崩れ、工事看板が滑り落ちて、右膝5cm上に衝突した。	60	4	221	1~ 9
40	2017	8	13~ 14	工事施工場所へ向うため、徒歩で路側帯内を進んでいたとき、後方から走って来たライトバンにはねられた。	33	17	231	1~ 9
41	2017	8	9~ 10	U字溝をユニックに積込み時、積込み後に荷台から降りようとしたとき、巻込み防止に足を掛けて降りようとしてバランスを崩し、咄嗟にU字溝を掴んだが、発生材のU字溝だったので、モルタルが付いており、それが剥がれて転落した。転落したときに右足を着いたが、勢い余ってそのまま転倒した。	63	1	221	10 ~ 29
42	2017	8	11~ 12	現場にてサイロの中に残ったセメントを1トン袋に出す作業中誤ってバランスを崩し、高さ約2.5mから落下し骨折した（ヒビが入った）	70	1	391	10 ~ 29
43	2017	7	12~13	道路の草刈り作業現場で、昼食を取るため、軽トラックの荷台に4人を乗せ、50メートルほどバックで移動した。停車しようと減速した際に、荷台に乗っていた1名がバランスを崩して落下	37	7	221	1~

				した。軽トラックの後輪で被災者に乗り上げ、巻き込む事故が発生した。				9
44	2017	7	14~15	倉庫にて、コンクリート用養生マットを片付ける際に、養生マットが単管組（養生マットを干す設備）に引っ掛かり、作業床のない上記単管組をよじ登り、バランスを崩し、高さ1.7m下のコンクリート舗装へ左足より落下した。	42	1	411	10 ~ 29
45	2017	7	13~14	右岸上流側の工事現場で、右岸側斜面の途中にある工事箇所へ向かう際、設置されている仮設安全通路（階段等）を利用せず、斜面を、親綱をつたい降りていたところ、足を滑らせ14m下の谷底へ転落した。	51	1	711	30 ~ 49
46	2017	7	16~17	工事作業現場トンネル上り線内にて、トンネル内監視員道路、中詰作業中約2m先の施工箇所へ移動する際幅17cmの堅壁の上を歩いて移動時にバランスを崩し、トンネルの壁側（ハンドホール）に落下した。その際左腕が堅壁の上部にあり全体重を支えるように接触し被災した。	63	1	416	1~ 9
47	2017	7	13~14	道路改良工事現場においてU字構設置作業中。U字構の高さを調整するのに、労働者Aと各々U字構の上にサンギを置き、それを叩いて作業をしていたが、労働者AのサンギがU字構の上から、転がりそうになったので、止めようと手を出してしまい、左手中指、薬指を叩かれ負傷する。	44	7	364	1~ 9
48	2017	7	11~12	道路改良工事に伴う舗装工事の施工中に作業員が後進してきた転圧機械に気づき退避しようとしたところ、既設舗装と路盤面の段差5cmにつまずき転圧機械に左足甲部が接触した。	65	6	144	10 ~ 29
49	2017	7	11~12	工事において、リチャージウェル撤去段取り作業中、定規鉄板を設置したのち、1.5?の水タンクを吊るために吊具を装着したままクレーンを6m移動した。被災者は、玉掛のために水タンクの位置に移動した。クレーン移動完了後、子フックを下げた	67	4	372	1~ 9

				時に、吊具が子フックから外れて落下し、被災者の右腕及び右手にぶつかった。				
50	2017	7	14~15	荷物積み込み作業中に、大型トラックから一斗缶32個（1パレット）の荷物を後ろ向きで引っ張ろうとしたときに、右足首を痛めてしまった。その場から一步も動けなくなり、すぐに救急車を呼んだ。	45	8	153	1~9
51	2017	7	13~14	現場で刈り払い作業中法面の高さ1m、法面の角度45° 午前中から小雨が降ったり止んだり足元も少し滑りやすく、前日の作業でもイノシシが掘った穴が見つかり被災者も注意はしていたものの、左足首をケガしてしまった。刈り倒された草で穴も見つけにくかったのも原因の一つだと思われる。	54	2	719	10~29
52	2017	7	12~13	労働者が国道を舗装中、国道沿いの建物の駐車場から乗用車が道路に出た際、ブレーキとアクセルを踏み間違え前方の乗用車に追突し、その衝撃でハンドルを切ってしまい、工事中の労働者と他作業員の合計2人に接触し、さらにコンバインドローラにぶつかり停止した。	59	17	231	10~29
53	2017	6	16~17	ダンプトラックを運転中に左膝に違和感があった。ダンプトラックを降りた際、左膝に痛みがあり歩行が困難な状態になっていた。	63	1	221	1~9
54	2017	6	15~16	舗装現場町道でユンボはセメント処理（不陸整正）、被災者はその後方で地盤を均す手作業中、ユンボとの間隔があまりなかったことと、もう一台のユンボが作動中で、被災者はバックしてくるユンボの音に気付かず、接触し事故に至った。ユンボ運転手の周りの安全確保と、被災者の機械作業エリアへの接近が原因と思われる。	47	6	142	10~29
55	2017	6	14~15	鉄筋を組んでいた時、その鉄筋のL型アングルをベビーサンダーで切っていた。刃が入らなかったため安全カバーを外して作業していたところ、ベビーサンダーの刃が割れて欠片が飛び、顔	42	4	159	1~9

				が切れ、工具が跳ね返り、顎に当たった。				
56	2017	6	9～ 10	砂防堰堤を整備するための工事用道路工事において、支障木伐採作業後、次の作業箇所へ移動する際、急斜面で、足元が木枝や落葉等により不安定な状況だったため、足を滑らせ転倒し、斜面を3m～4m程転がり落ちた。	32	1	711	1～ 9
57	2017	6	14～ 15	当社敷地内で、ゴミ集積所を作る作業をしていたところ、約5cm程の段差に躓きバランスを崩して、足の足首を強くひねってしまい負傷したものである。	63	1	417	50 ～ 99
58	2017	6	9～ 10	道路の伸びた雑草を伐採している作業中、右足の外側脛の部分を草刈機によって裂傷したものである。	62	8	169	10 ～ 29
59	2017	6	16～ 17	盛土材料（土砂等）の仮置場にて、タイヤローダーで盛土材料を仮置場に運搬するためにバックをした際、土砂等で盛り上がった部分に乗り上げてしまいバランスを崩し、タイヤローダーが横転したものである。	21	2	523	10 ～ 29
60	2017	6	11～ 12	抜根・掘削時、バックホウの爪交換作業中にセットハンマーのヘッド部分と柄が離れてしまい、ヘッド部分が左手中指に当たり、被災した。	38	6	364	30 ～ 49
61	2017	6	14～ 15	事務所前の玄関を出て階段（4段）を下りる際、階段のタイル上で足を滑らせ転倒し、被災者本人の足の上に尻もちをつく形となり負傷した。	24	2	413	30 ～ 49
62	2017	5	10～ 11	山林内で立木を伐採中、バックホウのバケットが立木に引っ掛かり、バックホウが傾きかけたので慌てて降りようとした時、膝を強く捻った。	33	19	142	1～ 9
63	2017	5	8～9	会社駐車場で現場に向かう前の朝のトラック点検をしている際、中の点検を終えて外に出ようとした時にステップから右足を踏み外し、左側から地面に落下し、腕を負傷した。	48	1	221	10 ～ 29

64	2017	5	10～ 11	本人の家の古い墓地が小高い山の上であり、お墓の撤去をするために、運搬車（トップカー）を通す必要があり、道幅が狭いため道をひろげるのに、自宅より本人所有の古いバックホーを使用した。山側を少し削る予定だったが道幅が50cm位しかなく、急坂な事と、路面の凹凸もひどく谷側の地面もずいぶんもろいため作業開始からしばらくして、バックホーごと縦に転がったが、本人は投げ出され、下敷きにならずに済んだ。	64	2	141	1～ 9
65	2017	5	9～ 10	林道開設工事のため法面を切土した土砂をパワーショベルで積み込み不整地運搬車に残土を100m位上流側の残土置場に搬出していた。残土を積み込むため残土置場から、パワーショベル付近に向かって上っていたところ、路肩に寄り過ぎたものと思われる、約17m下の谷側に転落した。	66	1	227	1～ 9
66	2017	5	16～ 17	路肩で、規制標識の解除終了後、規制車に乗り込み、シートベルトを着用する前に大型車両（キャリアカー）が右後方に追突した。その際に約5m下の車道に規制車ごと転落し、車は大破し、乗車していた3名が負傷した。	40	17	221	10 ～ 29
67	2017	5	8～9	鉄板敷設作業の玉掛け作業中に、被災者が鉄板の玉掛け金具を外していたところ、クレーン機能付バックホーオペレーターは、玉掛け金具が外れたと思いブームを起こす操作を行ったところ、鉄板が吊り上り、被災者は体勢を崩し右側へ転倒した。その際にずれた鉄板が左足首辺りに衝突し負傷した。	31	3	521	100 ～ 299
68	2017	5	9～ 10	勾配のある地山法面で、伐採した樹木の枝打ち作業に移動する時、一部分が急勾配（約40度）になっている所で法面下方に足を滑らして転倒した。その際に、切株の突起物に接触して左肩甲骨を骨折し、そのまま滑落して強く手を着いた際に左手首も骨折した。	65	1	711	10 ～ 29
69	2017	5	19～	出張先のビジネスホテルでチェックインを済ませ、2F部屋に向	37	19	413	10 ～

			20	かう階段で足を滑らせて、左足首を骨折した。					29
70	2017	4	8～9	交差点先で、本社資材倉庫よりユニック車で資材搬送中、一時的に低血圧により意識を失ったと思われ、反対車線にはみ出し、停車中のトラックに衝突した。	68	17	221		30 ～ 49
71	2017	4	14～ 15	倉庫で材料の片付をされていて上側の棚で作業中に、下の土間の方へ降りようとハシゴを使い降りる時に左足が滑って1m位の所から落ち、鉄筋で加工した吊荷用具に左腕が当たり、土間コンクリートで左肩を強打した。	62	1	371		1～ 9
72	2017	4	16～ 17	被災者は当日自社資材置場にて、資材の片付整頓をする作業を行っていた。集水柵を移動し置こうとした際、集水柵に胴巻をしていた玉掛けワイヤーが上方に滑り、資材を支えていた被災者の足に乗り右足を負傷した。	46	4	372		10 ～ 29
73	2017	4	11～ 12	研究棟の内装解体を行っていた時、3階のフロア中央で解体作業中に、長尺のカーテンボックスの上部の枠（W300L5000T30）の板を運び易くする為に継手部分で2つに折ろうとした。セーバーソーが近くに無かったので扉のサッシ部の上に板を置き上に乗って折ろうとしたところ、塗装がしてある面で足を滑らせコンクリート床面に尻もちをついた。	64	2	416		1～ 9
74	2017	4	14～ 15	県道拡幅工事において斜面にある木を倒す作業を行っている時に、倒した木の一部がはねて見張りをしている被災者に当たり負傷した。	48	4	712		1～ 9
75	2017	4	16～ 17	アスファルト舗装上にて、防音シート架台の高さ1.8m部分において防音シートの取り付け作業中、突風が吹き風であおられた際、架台の足元がガードレールに縛られていた為、ゆっくりと架台が倒れ、被災者は安全帯を手摺に取り付けていた為、両手で手摺を持ち踏ん張って地面に着地し、左足関節内果折骨折した。	49	5	719		1～ 9

76	2017	4	8~9	土木工事現場にて、クレーン機能付油圧ショベルでコンクリート柵と鎖に繋がれたグレーチングを同時に吊り上げ、4tユニット車に乗せる作業をしている際、当人がユニット車の荷台に乗って吊り上げられたコンクリートの柵に手をかけて降ろそうとしたとき鎖が切れて、グレーチングが左足の脛にあたった。	50	4	211	1~9
77	2017	4	7~8	工場敷地内から敷地外にあった空ドラム缶（直径570×高さ875）を足場にしてフェンス（高さ1000）を乗り越えて敷地外に出て、出入口の門扉を開けようとしたところ、空ドラム缶が倒れてバランスを崩し、背中を強打してあばら骨2本を骨折した。	63	1	611	10~29
78	2017	4	11~12	大型ダンプの荷台を洗浄するため、車側面のはしごに登っている時、足を滑らせ高さ約2mより落下し負傷した。	60	1	221	30~49
79	2017	4	21~22	夜センターラインの照度確認のため1人で写真撮影している際、黄色の作業車が南側車線の路肩に停車していた。写真撮影のために対向車線に黒板を持って出たところ、東から西方向に走行し作業車を追い越し中の車にひかれた。	68	17	231	1~9
80	2017	3	10~11	資材置場（当社）の解体作業中、重機で解体した鉄骨が足元に落下し、右足第一指粉碎骨折・第二指骨折を負った。	47	4	521	10~29
81	2017	3	9~10	足場組立作業中高所作業において、足元の不安定及び安全保護具（安全帯）の不使用のため発生した。足場の3番目（高さ5.4m）の位置で、作業具が幅木を設置する作業を行っていたところ、誤って体勢を崩し、安全帯のフックを固定していなかったため墜落し、とっさに3段目に仮置きしてあった足場の手摺部材につかまっていたが、手摺とともに下のコンクリートに墜落し、裂傷及び出血した。	24	1	411	1~9
				会社一階倉庫にて、業務指示に対し被災労働者が反抗的な態度				

82	2017	2	20~21	をとったことにより、カットとなった加害労働者が被災労働者の胸ぐらをつかんだ。その勢いで被災労働者はもつれるように後ろに倒れ込み、頸部等を負傷した。	25	19	921	10 ～ 29
83	2017	2	9~10	改良工事（2工区）の工事において、道路付近の切土面に滞水した雨水排除のため、水中ポンプにて水替え作業を行う準備中、昇降ルートでなく通行禁止にしていた法面（盛土上部）を自己の判断で通行し、足を滑らせて転落した。	55	1	417	50 ～ 99
84	2017	2	18~19	業務にてトラックを運転走行中、前に乗用車が割り込んできた為、右へ車線変更したところ、その乗用車も同様に右へ車線変更してきた為、自車は急ブレーキを掛けスリップして横転して、受傷した。	53	17	221	1～ 9
85	2017	2	9~10	現場にて使用していた敷鉄板を片付ける為に小型クレーン車（ユニック）に荷上げしていた際、フックから外れ、とっさに手を出してしまった為倒れてきた鉄板に左腕を挟まれてしまった。	63	4	212	—
86	2017	2	17~18	現場作業が終わり、資材置場までの移動中で前方不注意により3tダンプで停車中の一般車両に追突した。	42	17	231	—
87	2017	2	14~15	消雪送水管の漏水箇所を補修の為、送水管保護の為のコンクリートを削岩機にて研り作業中、削岩機の矢先が飛び右足の甲の部分に当たる。	44	6	149	1～ 9
88	2017	2	10~11	吹付機械のメンテナンス中に、機械上部（2m位）より足を滑らせて転落した。	34	1	149	10 ～ 29
89	2017	2	11~12	倉庫内において、2tダンプ荷台上で資材の積み込みを行っていた。完了後、荷台（約1.5m）から降りる際、あおりに躓き、腰部から落下した。	69	1	221	10 ～ 29
				入社時、駐車場に車を停めて事務所前まで歩いて行ったところ				

90	2017	2	6~7	ろ、足を滑らせ転倒し胸を強打した。当日、雪が降っていて、事務所が傾斜になっている為、足元が悪かった。当日は通常通り勤務したが、その後痛みがひどくなったので、後日、病院を受診した。	57	2	719	10 ~ 29
91	2017	1	15~ 16	被災者は、現場事務所隣接の資材置き場にて、撤去した残材を片づけ整理するため、携帯用丸のこで角材（45mm角）を固定し作業していたところ、携帯用丸のこが反発し、右大腿部に当たり被災した。	62	8	131	30 ~ 49
92	2017	1	15~ 16	林道工事において、伐採した木を搬出作業中に足を滑らせて転倒し、約20m程斜面を転がり落ちた。	77	1	711	—
93	2017	1	16~ 17	工事現場で擁壁の型枠を組み立てる作業をしている時に、足を滑らせて転倒し、型枠に衝突し、左頬骨骨折と左こめかみ部分を切り、左肩を打撲する怪我を負った。	69	2	413	1~ 9
94	2017	1	15~ 16	走行中、前の4tダンプが信号待ち車両があったため停止しようとしたところ、後から走っていた本人運転の車が追突した。	45	17	221	30 ~ 49
95	2017	1	13~ 14	山林道新設工事現場に於いて、チェーンソーで木を伐採作業中、勢いで手が滑り、左大腿部に刃が当たり切傷する。	50	8	136	1~ 9
96	2017	1	17~ 18	作業が終了して、両手にチェーンソーと工具箱を持ち、山の斜面を歩いて降りるとき、長靴を履いていて、落ち葉の上で足元が滑り、両手がふさがっていたため、手を突くことが出来ず、斜面を10mほど滑落し、最後に高さ4mの岩の上から舗装道路の上に左肩から転落した。	69	1	417	—
97	2017	1	9~ 10	型枠加工のため金板の切断作業中に電動丸ノコにより右手で持ち、左手により金板を押さえて切断を始めたところ、丸ノコ本体の見えない部分が左手中指に当たり、切断をした。丸ノコ操作の自分の目線位置が悪いため、左手先の部分が死角となり、また本人のなれ合い作業が起因である。	54	8	131	1~ 9

98	2017	1	15～ 16	道路法面工事において手渡の土嚢積（約5kg）作業をしている最中、中腰作業が続いた為、腰に痛みが発生し負傷した。	50	19	611	1～ 9
99	2016	12	9～ 10	水路工の側溝蓋敷設中に、吊り具が外れて蓋が落ち、側溝と蓋の間に右手薬指を挟み負傷した。	61	4	212	1～ 9
100	2016	12	14～ 15	道路新設工事現場に於いて、同僚と二人でガードレールを取り外し、そのガードレールを移動中に手が滑り、左足に当たり親指を骨折した。	63	4	611	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。